

憲法週間 5 月 1 日～7 日

5 月 3 日は憲法記念日です。この機会に基本的人権の尊重についてみんなで考えてみましょう

問い合わせ 人権推進課 ☎38-2055

多文化社会って どんな社会？



2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、外国人と接する機会は、ますます増えることが予想されます。

—日本人と外国人が相互に理解し、ともにいきいきと生活できる社会を築くには—
をテーマに、岩手大学教育推進機構グローバル教育センター教授・松岡洋子氏に寄稿していただきました。

となりの外国人

最近、「外国人が目立つようになったなあ」と思うことはありませんか。日本には今、外国から来た人々が230万人以上住んでいます。観光客も世界中からやって来るようになりました。「わたしは外国人と関係がない」と思っている、実は日々の暮らしの中でいろいろな国から来た人と接しています。留学生のコンビニ店員さんは珍しくありません。家に来てくれた介護ヘルパーさんが東南アジアの人だったということもあるでしょう。農業や水産業の現場は外国人が支えています。これまで長く共に暮らしてきた韓国・朝鮮、台湾につながる人々だけでなく、新しくやって来たおおぜいの外国人が生活するようになっています。

「違う」ことへの戸惑い

わたしたちは普段の暮らしの中で当たり前のように周りの人々と習慣やマナーを共有しています。近所の人との立ち話の話題、お弁当の中身、ごみ捨てなど、何気なく同じルールの中で暮らしています。しかし、隣の市に引っ越ただけで、ごみ分別の仕方が違って戸惑うことがあります。ましてや、外国人にとって、日本での生活は当たり前ではないことばかりでしょう。

たとえば、ある学校に外国から転校生がやってきましたが、日本語が全くできません。担任の先生は困って「日本語ができるようになってから学校に来てください」とお母さんに何とか伝えました。では、この子はどこでどのくらい日本語を勉強したら学校に来ることができるのでしょうか。残念ながら、日本では外国人の子どもが日本の公立学校でスムーズに勉強できるような仕組みがまだ十分に整備さ

れていません。芦屋市では学校や教育委員会、民間支援者が協力して支援していますが、まだまだ手探り状態が各地で続いています。

また、あるアパートの一室では毎週のように外国人が集まる日がありました。それを見た近所の日本人は、危険な集団が住んでいると思い、怖くて引っ越してしまいました。実は、イスラム教の人たちは毎週金曜日のお昼にイスラム教寺院に集まってお祈りをするのですが、近所に寺院がないため、そのアパートにイスラム教の人が集まって金曜の礼拝をしていただけなのです。知らない人、付き合いのない人は、お互いのことを疑いの目で見てしまいがちです。

前向きな多文化社会

今外国人と共に暮らす多文化共生社会を築こう、外国人には日本の生活でわからないことがたくさんあるから、日本のことについて教えてあげて支援しよう、と言われていています。しかし、共生というのは、一方的にどちらかが助けたり、どちらかに合わせたりすることではありません。とは言っても、大津波警報が出たときにも外国人が逃げ

なかったら、「今から説明するから、もし理解できたら逃げてください」というわけにはいきません。手を強引に引っ張ってでも避難したほうがいいでしょう。また、ゴミ捨めのルールは、そこに住むどんな人でも同じように守らなければコミュニティが成り立たなくなりますので、みんなが理解できるようにルールを共有する必要があります。一方、ハグをするのが当たり前の人に対して「日本では人前でハグするのは我慢すべきだ」という人がいますが、あなたならどうしたらいいと思いますか。

人々は、ことば、宗教、性別、年齢、体の特徴、習慣など、さまざまな違いを持っています。しかし、社会の中に多様性が増すと、対立したり、一緒にいることが難しくなったりすることが目立つようになります。では、対立した時にはどのようにしたらいいでしょうか。また、どのようにしたら、相手との違いを理解し、受け止められるでしょうか。

それを考えるためには、まず相手の存在を知ることが第一歩です。そして、「これが常識だ」と思っていることを、少し別の角度から見直してみてください。そうすることで、共有すべきルール、自分とは違う人がいても許容できる心の持ち方などが見えて、違いを楽しむ気持ちも持てるようになるのではないのでしょうか。

松岡 洋子氏 プロフィール

筑波大学大学院修士課程修了、新潟大学大学院現代社会研究科博士課程後期単位取得退学。

専門は日本語教育、移民の言語政策。留学生に対する日本語教育、日本語教師養成等を担当しながら、移民と受け入れ社会のコミュニケーションについての調査研究を継続中。文化庁国語分科会日本語小委員会臨時委員、同地域の日本語教育スタートアッププログラムアドバイザー、自治体国際化協会地域アドバイザー、岩手県国際交流協会理事。

